

[日本丈風の会]案内

2019・3・3～

国際的にも歴史的にも初めてとなる「**三世代平等型の長寿社会**」を達成するために青少年世代・成長期～30歳、中年世代・成熟期～60歳、高年世代・円熟期～90歳+が、おたがいを意識して、それぞれに新たなモノ・居場所・しくみをこしらえる。

◎趣意



・「人生100年」時代を迎えて・

「一億総活躍」を唱えて担当大臣を任命（2015年10月）した安倍首相は、衆院選後の「所信表明演説」（2017年11月）で「人生100年時代を見据えた経済社会」への改革を訴えました。2018年6月には内閣府の「人生100年時代構想会議」が「人づくり革命基本構想」をまとめています。が、会議に高齢社会の実情がわかる有識者が参加していませんから、いまの高齢者への呼びかけは

ありません。会議に参加した英国のリンダ・グラットン女史が、日本の子どもが世界一長寿で二人にひとりが107歳まで生きると推測して話題になりましたが。

「人生100年（90年+）」をどう過ごすかは個人の自助努力によりますが、住民同士の互助や地域の共助による支え合い、国・自治体による支援（公助）によって充実度がちがってきます。いま、すべての世代（all ages）が力を合わせた「**三世代三期（青少年世代・成長期～30歳、中年世代・成熟期～60歳、高年世代・円熟期～90歳+）平等型の長寿社会**」の創出が、地域生活圏で横比べで競われて進もうとしています。

日また一日、地域活動に参加し目標実現に努めて過ごしている高齢者のみなさんを本会では「丈人」（大丈夫！の気概をもつ人）と呼び、人生をどこまでも発展・熟成・深化させようとしてふつふつと湧いて出る生活力あるいは生命力を「丈人力」と呼んでいます。

「丈風の会」はそういうだれもが保持している「丈人力」を発揮して新たなモノ・サービス・居場所・しくみをこしらえて日々を送る人びとの集いの場です。

「人生90（65+25）年+」という長寿は、祖父母・父母たちが前世紀の大戦後に平和を守りながら努めて得た成果であり、今世紀を生きる子・孫たちにとっては実現すべき課題です。ふたつの世紀をつなぐわたしたちは、同時代人として「すべての世代のための社会をめざして」（towards a society for all ages 1999年の国連「国際高齢者年」の呼びかけ）を合言葉にして高齢期を過ごすこととなります。

「日本丈風の会」代表 堀内正範 元朝日新聞『知恵蔵』編集長 高連協オピニオン会員

e-mail joufuu21@gmail.com mhori888@ybb.ne.jp

tel & fax 0475-42-5673

keitai 090-4136-7811

〒299-4301 千葉県長生郡一宮町一宮9340-8

関連自著『日本型高齢社会 「平和団塊」が国難を救う』

（武田ランダムハウスジャパン 2010・7・1刊）



◎これまでの活動

これまでは「人生65年+」時代＝2世代（青少年+中年）+α（高年）型「引退余生」人生「**日本文風の会**」は、大戦後の戦禍に耐えて、力を合わせて平和で平等な日本社会をこしらえて、高齢に達してなお元気に暮らしているみなさんの集いの場です。

本会は、1999年の「国際高齢者年」に活動を開始して、10年目の2009年10月を機に高齢社会構想を掲げて活動する「高連協」（高齢社会NGO連携協議会）の動向を軸にして、2012年5月から『月刊丈風』を発行し、日本高齢社会形成の取材と広報をおこなってきました。



「丈風」2016年2月号→

バックナンバー（2012年5月～2017年5月・1～53号）は、本会のHP「月刊丈風」でご覧いただけます。この間の「内閣府」「高連協」「さわやか福祉財団」「プラチナ大賞」「RISTEX」「社会福祉協議会」などによる先導的な活動の詳細な記録となっています。これまでの20年間は高齢者による高齢者のための活動が中心でした。

これからはわが国に史上はじめて登場している「高年世代」（高齢化率25%、人口4人にひとり、2015年～）が加わった「**三世代（青少年・中年・高年）平等型の長寿社会**」を推進する会として、新たな社会づくりの姿を見据えてまいります。大地を潤す小さな泉眼や水玉模様のような個々人の「人生100年」への挑戦と成果を熱く厚く重ねて。

論考：web『史上初の「三世代平等社会」～百折不撓の「人生100年」を体現して～』



「月刊丈風」



内閣府フォーラム



高連協公開講座



さわやかフォーラム



RISTEX

2014年8月号↑

◎これからの活動

これからは「人生90年+」時代＝3世代（青少年+中年+高年）平等型「現役長生」人生新世紀の国際的な潮流である「高齢化」に遭遇して、そのフロントランナーにふさわしいモデルとしての「**長寿社会＝三世代平等社会**」の形成にかかわりながら、それぞれの立場でこれまでたいせつに保持してきた知識・技術・資産・人脈を活かして「人生100年（90年+）」の成果をめざすこと。

◎**当面する活動** 上記の先導する各団体の動向に沿いつつ参加・自己実現をめざす。

web 情報誌 月刊・季刊・年版で活動の成果を検証。

- web『月刊 丈風』 継承 会員のみなさんにお送りいたします。
- web『季刊 傘寿期+米寿期』 高齢期の円熟した人生の見える化
- 年版『アルマナック 三世代平等社会2020』 国際的先行モデルとしての日本社会

Web 活動者が集う「丈風会館」 web 丈風会館内にそれぞれの活動の事務局を設けて

「三世代平等社会を達成するみんなの会」

「三世代同等同居住宅をふやす会」

「高齢者向けモノとサービスをつくる会」 「高齢者の居場所・通い場所をつなぐ会」

「体験した戦禍（銃後・戦後）の記憶を家族史として残す女性の会」

「内閣府に高齢政策担当特命大臣（専任）を求める会」

「全国の高齢議員をはげます会」

「平和憲法100年記念国際祝典2047推進会議」

「第三回高齢化世界会議2022招致の準備会議」

「NHKに第二放送とともに第三放送高年・文化局を設ける会」

「中学校区に 公立生涯教育大学校 の設置をすすめる会」

「長寿時代にかんする講演セミナー講師の会」

「エイジングを語る市民と報道人の会」・・・

+ そのほかご要望を受けて本会が参加可能な活動・事業

「人生90（65+25）年+」時代の課題設定に関して

◎1 自立・自己実現をめざす（個人）

・高齢期自己認識 ・「丈人力」の発揮 ・高齢社会から長寿社会へ ・シニア文化圏

◎2 「三世代平等型の長寿社会」を共有する（高齢化率は65歳以上の人口比率）

・「高齢化社会」（高齢化率7%・1970年～）→「高齢社会」（14%・1994年～）

→「超高齢社会」（21%・2007年～）→「長寿社会」（25%・2015年～）

・三世代交流会館 ・三世代四季型中心街 ・シニア生活圏（居場所・通い場所）

◎3 わが家三代の暮らし（家庭で）

・格差のない九割中流 ・ライフ・アンド・ワーク ・孫育て ・三世代同等同居住宅

◎4 ものづくりとしごと（企業で）

・優良国産（地産）品づくり ・高齢者向けモノ・サービスづくり ・途上国の日本化支援
と日本の途上国化受容（家庭に「百均商品」・会社に「非正規社員」） ・高齢化商品経済圏

◎5 四季折り折りのある暮らし

・双暦（西暦・農曆）に慣れる ・四季カレンダー ・百季人生（高齢期25年×4）

・春・夏・秋・冬折り折りの風物を際立たせて狭い国土を四倍に見せる「おもてなし」

◎6 地方特性を活かすまちづくり（住民・市民として）

・均衡ある国土の発展（横並び）～特性ある地域の発展（横比べ） ・新地産品で全国制覇

・「地域包括支援」・「シルバー人材」・「生涯学習（生涯大学校）」の地域三センター体勢

◎7 国の政策を支援する（国民として）

・「高齢者対策」（介護・医療・福祉・年金）と「高齢社会対策」（意識・居場所・しくみづくり）

・「高齢社会対策基本法」（1995年）と「高齢社会対策大綱」（1996年）から20年

◎8 21世紀ニッポン・オリジナルの「三世代平等型の長寿社会」

・「1999国際高齢者年」がスタート ・「平和憲法制定100年記念式典2047」実現

・「クール・ジャパン」は外国人による歴史的ジパング鉦脈さがし



◎会員・会友

「吾聞、富貴者送人以財、仁人者送人以言」（『史記』より老子のことば）
吾れ聞く、富貴なる者は人に送るに財を以ってし、仁人なる者は人に送るに
言を以ってす

本会の会員・会友は新たな三世代平等時代を拓く上記の活動に賛同できるすべての人。
活動が可能な課題を選んで e-mail joufuu21@gmail.com mhori888@ybb.ne.jp か、
〒 fax で、下記の名簿を添えてお申し込みください。

お申し込みいただいた方々には、「丈風の会案内(会員・会友用)」・交流番号・振り込み口座をお送り
いたします。

- ・年会費 参加会員＝野口英世幣 3（3年分） ・長期(生涯) 会員 福沢諭吉幣 3。
 - ・支援会友 富貴なる方々は本会の活動のため次世代の将来のために財政的支援を、仁人なる
方々は本会の趣意を固め活動を広めるために発言・投稿での支援を。
 - ・会員・会友の方々には『月刊丈風』『月報 丈風の会ニュース』をお届けいたします。
- 新たな課題をもって参加する会員の方は、ご希望があればお仲間と「**丈風の会」を称
してご活動ください。

「日本文風の会」本部 堀内正範

e-mail joufuu21@gmail.com mhori888@ybb.ne.jp

tel & fax 0475-42-5673

keitai 090-4136-7811

〒299-4301 千葉県長生郡一宮町一宮9340-8



*「日本文風の会名簿」 * 交流番号 _____ * 必要な方は4ケタでお好きな番号を
参加希望課題

お名前

生年・生地（自治体）

専門知識・技術・技能（趣味）

所属団体・事業

現住地 〒

Tel & Fax keitai

E-mail

お仲間

記載年月日

m e m o :

名簿の個人情報には他に用いることはいたしません。

写真をどうぞ

*****「丈風の会名簿」*****



◎指針

「烈士暮年、壯心不已」（曹操の詩「歩出夏門行」） 烈士は暮年にして、壯心已まず

- ・国連が提唱する国際的指針「**高齢者五原則**」 自立・参加・ケア・自己実現・尊厳
- ・「尊厳」ある高齢期を送る指針「**長寿八策**」 ここからひとつずつひとつでも

一 65歳から90歳までの25年を他力依存でなく過ごすため「自覚意識」を確立中
 二 「引退余生」でなく「現役長生」で社会参加を続けながら「高年期人生」を実現中
 三 培ってきた知識技術を活かして高齢期の暮らしを豊かにする「優れモノ」を制作中
 四 体(≧疾病) 志(≧認知症) 行(≧介護) 三つのバランスで「包括ケア」を体現中
 五 「三世代(青少年～30歳・中年～60歳・高年～90歳+) 平等社会」を創出中
 六 日また一日欠かさずに出て「地域生活圏」(「支え合い」の現場)の形成に参加中
 七 高齢者がつどう「居場所」でそれぞれの自己目標やみんなの課題の解決策を談議中
 八 水玉模様のような小さな会に加わり「各地各界の仲間」と成果を分け合って連携中

・「体志行の三元ケア」 カテゴリー

- ・体＝からだ・健康 食べる・薬・サプリメント・休息・健康体操・・・有訴≧・・・→疾病
- ・志＝こころざし・知識 しゃべる・考える・見聞する・情報・文化を知る≧・・・→認知症
- ・行＝ふるまい・技術 歩く・雑用をする・手づくり・芸能・技術・スポーツ≧・・・→介護

<注>スポーツでは「心・技・体」として、高齢者は「体・志(心)・行」と意識します。

・高齢化時代の「ライフサイクル」

青少年期	〇歳～二四歳 (二五歳～二九歳)	自己形成期 バトンゾーン 選択期)	成長期
中年期	三〇歳～五四歳 (五五歳～五九歳)	労働参加・次世代育成期 パラレルゾーン 高年準備期・自立期)	成長+成熟期
高年期	六〇歳～八四歳	地域参加・自己実現期	成熟+円熟期
前期	六〇歳～七四歳	地域参加期	成熟期
後期	七五歳～八四歳 (女性八九歳)	自己実現期	円熟期
長年期	八五歳 (女性九〇歳)～	ケア・尊厳期	長命期



吉永小百合さん
古希期 74歳
1945・3・13

・百寿への「賀寿期五歳層」ハステージ 2019年基準

還暦期 (六〇歳～六四歳)	昭和三四年 1959～昭和三〇年	還暦＝六〇歳
禄寿期 (六五歳～六九歳)	昭和二九年 1954～昭和二五年	禄寿＝六六歳
古希期 (七〇歳～七四歳)	昭和二四年 1949～昭和二〇年	古希＝七〇歳
喜寿期 (七五歳～七九歳)	昭和一九年 1944～昭和一五年	喜寿＝七七歳
傘寿期 (八〇歳～八四歳)	昭和一四年 1939～昭和一〇年	傘寿＝八〇歳
米寿期 (八五歳～八九歳)	昭和九年 1934～昭和五年	米寿＝八八歳
傘寿期 (九〇歳～九四歳)	昭和四年 1929～大正一四年	傘寿＝九〇歳
白寿期 (九五歳～九九歳)	大正一三年 1924～大正九年	白寿＝九九歳
百寿期 (一〇〇歳以上)	大正八年 1919以前	「百齡眉寿」



三浦雄一郎さん
米寿期 85歳
1933・10・12

*****「**日本文風の会**」*****